

開校記念日を大切に！

1977年(昭和52)年6月7日、むらすぎ荘で秋田県立仁賀保高等学校開校式が行われました。校舎が未完成のため、4月12日、旧平沢中学校の仮校舎で入学式が挙行され、第1期生が現在の校舎で高校生活をスタートさせたのは、11月10日、眼前の鳥海山には、新雪が眩しいくらいに輝きを放つほどの快晴の日、と秋田魁新報が伝えています。(創立10周年記念誌より)

明後日6月7日(日)は44回目の開校記念日です。仁賀保高校の歩みと歴史を学び、仁高生一人ひとりの胸に、未来に向けてのヒントが芽生えてくれれば幸いです。この願いを抱きながら、創立30周年記念誌のなかから、第1回創立記念日である昭和52年6月7日、快晴のもと行われた開校式で、生徒代表、村上剛さんが述べた宣誓文を紹介します。

私たち、秋田県立仁賀保高等学校第1期生277名は、今日、大きな喜びをもって開校式を迎えることができました。ここにわが校の輝かしい歴史の1ページは、皆様の温かいまなざしのもとに、深い意義をもって開かれました。

私たちは、学校創設にあたって寄せられました関係者の方々の御尽力ならびに、本日の式辞や祝辞にも述べられましたいろいろの御激励に対しまして、感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちは、霊峰鳥海のごとく高遠にして、日本海の如く洋々とした、わが校の歴史と校風の基礎をつくるため、この感激と誇りをもって、勉学にスポーツにいそしみ、秋田県の皆様の御期待に応えられるよう努力することを、ここにお誓いいたします。

仁高生諸君、村上剛先輩の宣誓文は時空を超えて、皆さんを勇気づけてくれます。秋田県民が諸君の成長に期待しています。

優しさと有り難さを忘れない！

秋田県は6月1日(月)から新型コロナウイルス感染症に関する新たな対応策を実施しています。私たちは今後も、コロナウイルスとの共生を意識した立ち振る舞いを行っていくことを確認しましょう。このような日常の中で、皆さんに忘れてほしくないこと、それは「共助」の精神です。「自助、共助、公助」は、昨年8月末、にかほ市防災訓練の際に、講師の方から学んだキーワードです。

令和2年度がスタートして2ヶ月が経過、この間、マスクの着用が定着しています。今年度仁賀保高校に対して、にかほ市防災課、テクノス秋田、PTA会長の皆様方からマスクを寄贈していただきました。この場をお借りして、重ねてお礼申し上げます。御厚意を有り難く受け取り、学校で有効に活用させていただきます。

私たちは、この度の善意を忘れることなく、今後さらに、地域や社会の役に立つ人間を目指して、学び続けます。生徒と保護者の皆さんと共に感謝の気持ちを抱きながら、教職員の心意気を添えて、支え合い助け合う仁賀保高校でありたいと思っています。

- ★ アイコンタクト (i contact) を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！
- ★ メモをとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
- ★ 意識力 = 意思・意志(瞬間) + 気力(持続)です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
- ★ G T H は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
- ★ 「自己有用感」を高めてください。そのためにあなたはなにに挑戦しますか？
自分が誰かの役にたつためには、感謝の心と自己肯定感を持つことが大切です！
- ★ N P T は仁賀保高校プログラミング思考の略称です。N P Tを意識して、学びを活性化しましょう。プログラミングは、Trial&Errorで進めましょう！